

第1回あおもりまち育て人勉強会 in 五所川原市

◆日時・場所

日時：平成24年2月8日（水）
18：30～20：30

場所：ELMの街 ELMホール

◆次第

1. あいさつ

2. まち育て人講座

「まち育てのススメ」

弘前大学教育学部副学部長 北原啓司 氏

◆参加者

受講生（五所川原市民） 14名

◆勉強会の様子



県の担当者からまち育て人勉強会の趣旨説明を行いました。

・まち育て人講座「まち育てのススメ」



弘前大学教育学部の北原副学部長よりご講義いただきました。

第1講 まち育てのススメ

弘前大学 北原啓司

1

1. 「まち育て」ってなに？

現代は、今あるストック(資源)を再生して活用する時代

→ 自分たちの空間を育てていく考え方

まちを「つくる」プロの苦手な役割

○時間が読めない

○予算の見積もりができない

↓

まち育て = 子育て…エンドレス

ずっと苦勞と楽しみが続いていく

2

2. 参加を活かした「まち育て」とは！？

○元気なまち

→ 個々の地域がそれぞれの資源を活かす

人材・歴史・特性etc.

★資源を活かすことを「参加」と呼ぼう！

小さな参加がまち全体につながっていく

☆身近な空間に住民が思いや夢を託す

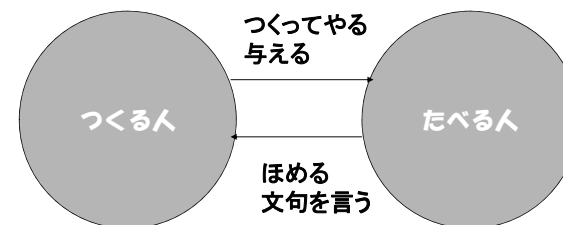
まちづくりのプロでなくてもできること

私たちは生活(たべる)のプロという誇り

3

※これまでの「参加」

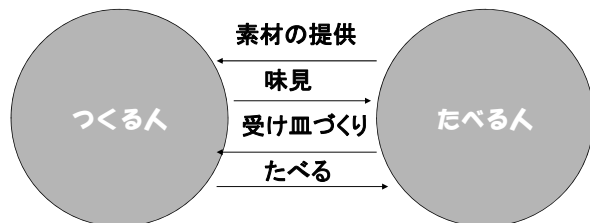
まちづくりの主体は「つくる」人



「形だけの参加」

4

★これからの参加 …まちを「たべる」ための参加



「つくる」人と「たべる」人との新しい関係



参加は武器(イベント)ではなく、こだわり

「たべる」人の誇りと責任

3. 「まち育て」のための発見

英国のまち学習…発見的方法

見つける→調べる→考える→提案する

「生きる力」を育む

⇒総合的な学習の本来の姿!

○自分たちにもきつとできるはず

○自分たちにも責任があるはず

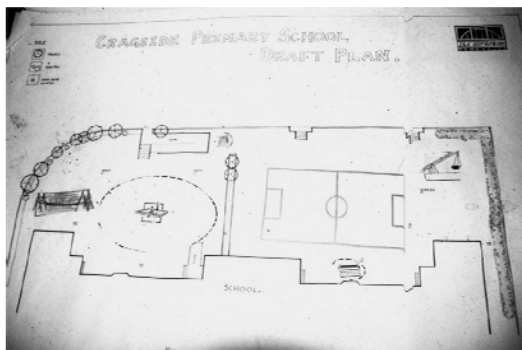
★タウン・トレイル

みんなで街を歩いて、観察してこよう

→ 住宅団地の窓の観察

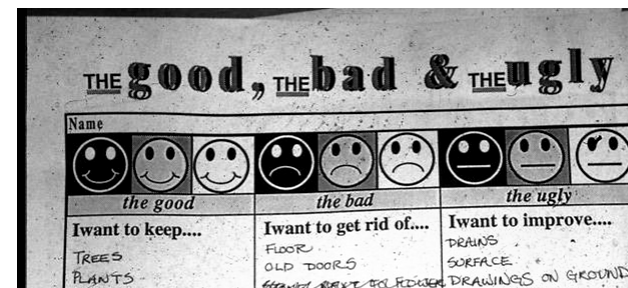
★校庭からのまちづくり

●校庭で進める実践的な住環境教育



ニューキャッスル: クレグサイド小学校

★ the Good, the Bad and the Ugly



★津軽の子ども達がみつけたGood



やっぱり、何はなくとも岩木山

9



そのままにしておく弘前市役所が悪いと思う！

10

4. まち歩きのススめ

○発見的方法を自分のものにする

麻痺した大人の視点ではなく純粋な子どもの視点

地域住民

外来者

(土の人)

(風の人)

○「生きる力」を身につける

地域の持続可能な発展を左右する

発見する→調べる→考える→提案する

11

★まち歩きに必要な5つの視点

1. 答えは場所に必ずある

無駄な写真は一枚もない

2. 中途半端な予見はならない

純粋な子どもの眼差しで・・・

12

★大人が陥る上から目線



★子供が身につけているカメラアングル



14

★まち歩きに必要な5つの視点

3. 「そこにあるべきものがない」ことも撮影の対象
ないものを撮影する！？
4. 同じものを撮っても、意味の違う写真がある
頭のピントはどこに合せているのか

15

★まち歩きに必要な5つの視点

5. フィルターをつけて撮ってみる！？
 - ここにこれがなければどう見えるんだろう
トリミングのフィルター
 - もし自分が70歳のおばあちゃんなら
どう見えるんだろう
ロールプレイングのフィルター
 - 夜になるとどんな感じなんだろう
4次元(時間軸)のフィルター

16

■まち歩きが育てるまちを「たべる人」

- 目…目に入ってきたものすべてを材料にできる
- 鼻…おいしい臭いをかぎつけることができる
- 舌…おいしいものをおいしいと感じることができる
- 耳…小さなつぶやきを聞き取ることができる
- 口…思いを他の人々に伝えることができる
- 足…元気に、どこにでも出かけることができる
- 手…手を動かしながらアイデアを出せる

17

★この写真をよく見てください！



18

5. まち育ての実践

創造的なケンカのススメ

<青森市佃气象台跡地公園計画>

まちを「たべる」プロとして、公園づくりに参加

- 青森市立佃小学校の子どもたち
- OPTA
- 町内会のおじいちゃんたち
- 商店街のおじさんたち
- 身障者を支援する人たち
- 商工会議所のおじさんたち
- 専門家

19



20



なんてかわいらしい模型！

21



「つくる」人と「たべる」人とのケンカが始まった！

22



23



この子どもたちも「まち育て」のプロ

24